

JAPAN MICE Challenge 2025

開催報告資料

2025年5月

JAPAN MICE Challenge 実行委員会

JAPAN MICE Challengeを企画する背景

世界的にMICE産業の重要性が高まり、国際競争が激化する中、
日本においても業界のプレゼンスを高め、優秀人材を業界に巻き込み、
産業そのものが変革・成長していくことが求められています。



そこで、大学生・専門学生等に対してMICE（ビジネスイベント）業界の未来と成長可能性を示し、
彼らがキャリアの始発点としてMICE業界を選択するきっかけとなる機会「JAPAN MICE Challenge」を
立ち上げ、2024年のプレ大会を経て、2025年に本大会を開催しました。
2026年大会からはMI・C・Eの3部門を設け、MICE全領域を網羅する事業へと成長を図ります。

JAPAN MICE Challengeとは

- Who

大学生・専門学生がチームを組み、

※参加対象：大学・大学院、専門学生を対象とし、チームは学校単位のほか複数の学校による混成も可。
社会人学生の参加には一部制限あり。

- What

仮想の企業インセンティブ / 国際会議主催者に対する日本への誘致プレゼン、
仮想の展示会の日本における新規立ち上げプレゼンを、

- How

事務局からのメンタリングを受けながら、

実施するピッチコンテスト・アワード

JAPAN MICE Challenge 2025：開催概要

- 会期
2025年3月6日（木）～7日（金）
- 会場
ガンガラーの谷、国立劇場おきなわ 他
- 主催
JAPAN MICE Challenge 実行委員会
一般社団法人日本コンベンション協会
MPI Japan Chapter
株式会社DMC沖縄
株式会社MICEジャパン
- 後援
観光庁、日本政府観光局、沖縄県
- 参加者
総数137名（発表学生：9大学10チーム45名、業界関係者・一般参加者92名）



JAPAN MICE Challenge 2025：開催概要

プラチナ

一般社団法人日本コンベンション協会



一般社団法人 日本コンベンション協会

ブロンズ

株式会社キヌガワ / 株式会社シーマ / 株式会社PCO
株式会社イベントサービス / 株式会社レイ / 株式会社プリプレス・センター
株式会社JTBコミュニケーションデザイン / 株式会社ビーシーオーワークス / 株式会社マッシュ
株式会社アカネクリエーション / 株式会社ユニティ / 株式会社つむら工芸

人と環境にやさしい展示空間・新素材製造企業
TOTAL DISPLAY
株式会社 **キヌガワ**



株式会社シーマ



Event Services, Inc.



ゴールド

沖縄MICEネットワーク / RX Japan株式会社



沖縄MICEネットワーク



Jtb
Communication
Design
想像を超えた、創造を。
Best Solution, Best Partner.



AKANE CREATION



株式会社ユニティー



株式会社つむら工芸

シルバー

株式会社ホットスケープ / 株式会社コンベックス / 株式会社コングレ
日本コンベンションサービス株式会社 / 沖縄国際会議観光都市推進連絡協議会



JCS 日本コンベンションサービス株式会社



沖縄国際会議観光都市推進連絡協議会

特別協力

株式会社DMC沖縄 / 株式会社ホットスケープ / 株式会社PCO
株式会社南都(ガンガラーの谷) / 西尾レントオール株式会社 / ロワジール那覇



JAPAN MICE Challenge 2025：参加学生チーム

チーム名	メンバー構成大学	提案都市
Meetya Osaka	追手門学院大学	大阪
エコフローラ	静岡大学	札幌
ぴよシャチ	名古屋学院大学	名古屋
しんごう	國學院大學	長野
ぼう・がんばんズ	國學院大學	神戸
Nissyの愉快的仲間たち	東海大学	舞鶴
The First Penguins 2025	名桜大学	沖縄
GLOCAL	國學院大學 / 東京経済大学 / 和光大学	沖縄
Linkee	和歌山大学	長崎
おんせん県観まち	國學院大學	大分

JAPAN MICE Challenge 2025：ピッチの題材

誰に提案するのか

- ・2024年以降の国際会議開催地 ※1,000名規模（目安：継続参加者 7割、新規参加者 3割）の参加を想定

2024年：コペンハーゲン
2025年：ボストン
2026年：ダブリン
2027年：マイアミ
2028年：リヨン

2029年：アジアのデスティネーションを想定

- ・国際会議における収入が協会経営の財政基盤となっており、協会の事業拡張に直結している。

- ・国際会議開催に伴う収入は、①参加登録費（全体の4割）、②スポンサー費（全体の6割）の2種類である。
※参加登録費は税別 10万円/名、スポンサー費（パッケージブース費）は税別100万/ブースを想定

- ・再生エネルギー関連の最新技術やサービスを関連事業会社・団体に訴求したい企業が展示ブースを設ける形式でスポンサードする（Gross 3,000㎡、1ブース9㎡@100～150ブース程度）。

求める提案

まとめ：この協会が国際会議開催を通じて達成したいこと

- ・協会経営を支える利益の創出
→参加者収入の増加（＝多くの参加者の獲得）
→スポンサー収入の増加
- ・アジアにおける協会ビジネスの拡張
→アジアからの会員獲得 / スポンサー増加
- ・アジアの再生エネルギー市場成長を牽引するパートナーとしての想起獲得
→アジア各国の政府や有力企業と関係を構築し、協会として今後のビジネス拡張に繋がるネットワークと信頼を獲得
→既存会員やスポンサーに対し、今後の新たなビジネスに繋がる関係構築を支援

欧州の再生可能エネルギー関連協会の会議を日本へ誘致することを与件として設定。
主催者の課題に向き合い、開催地がどのように課題解決に寄与できるのかを問う形式とした。

JAPAN MICE Challenge 2025：結果

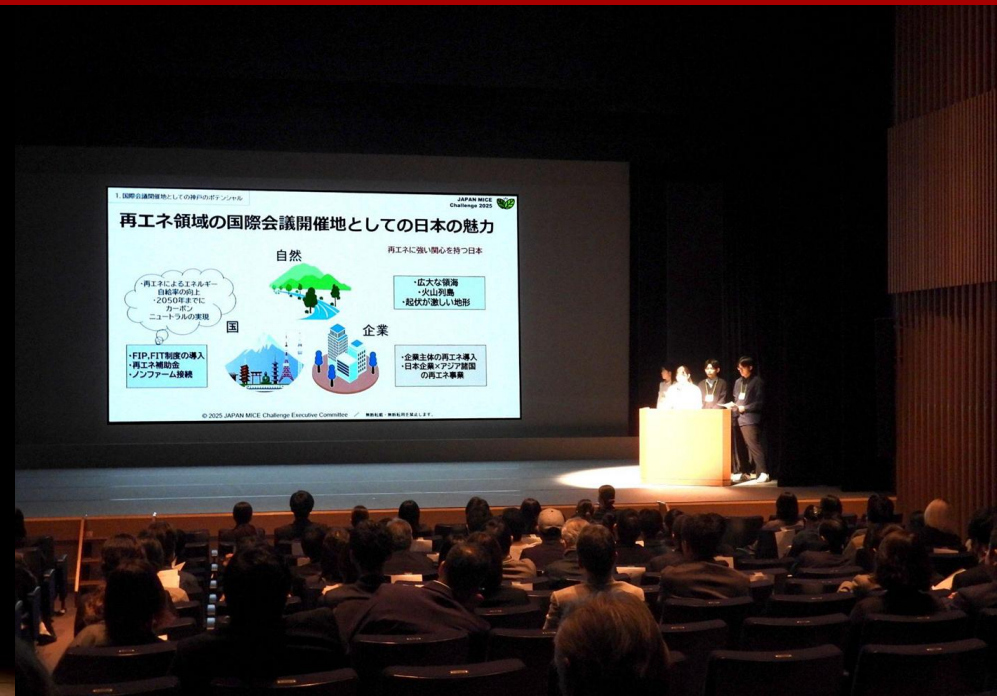
- ・ 最優秀賞：Linkee（和歌山大学）
- ・ 優秀賞：ぼう・がんばんズ（國學院大學）、おんせん県観まち（國學院大學）
- ・ イノベーティブビッド賞：Linkee（和歌山大学）
- ・ 審査員特別賞：おんせん県観まち（國學院大學）、エコフローラ（静岡大学）

JAPAN MICE Challenge 2025：会期の模様



第1次ラウンド@ガンガラーの谷

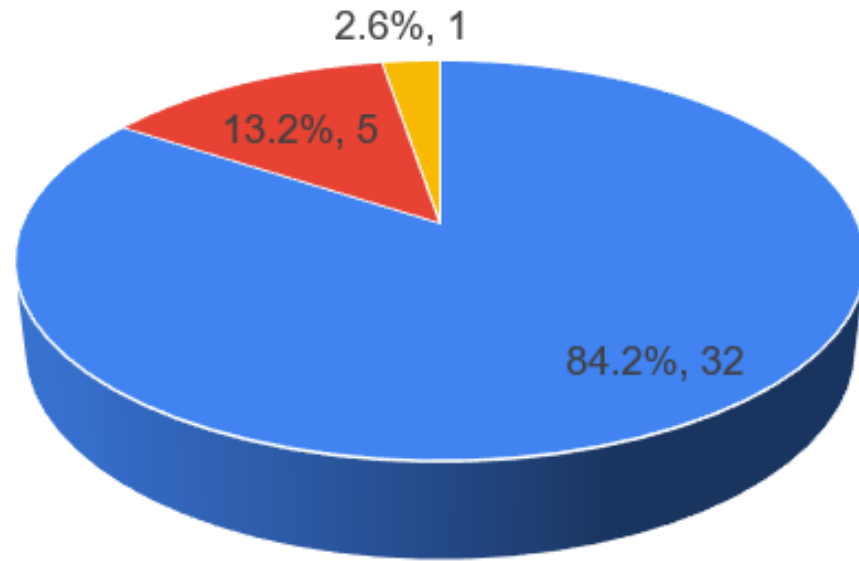
JAPAN MICE Challenge 2025：会期の模様



企業ピッチ@とうばら一ま
決勝ラウンド@国立劇場おきなわ

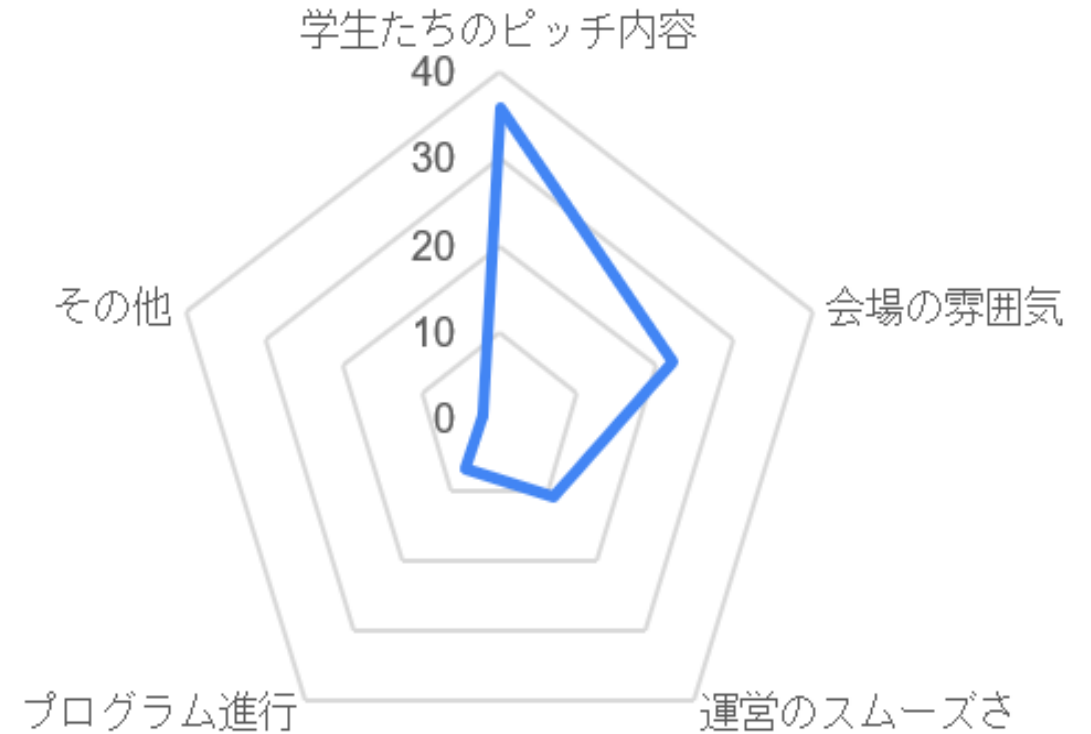
アンケート結果：一般参加者

JAPAN MICE Challenge 2025 にご参加いただいた感想を下記よりお選びください。



■ 期待以上だった。 ■ 期待通りだった。 ■ 期待を下回った。

良かった点をお選びください。（複数回答可）



総じて高い評価を頂く結果となったが、特に学生によるピッチ内容への賞賛が相次いだ。
(詳細コメントは次ページ以降参照)

アンケート結果：学生

■ 主なコメント抜粋

他チームの発表や審査員のコメントからも、多くの学びがありました。特に同じ課題に挑んだ他大学の参加者たちの交流は貴重な機会で、本当に意欲のある学生が集まっていることが会話から伝わってきました。

協賛ピッチでは、実際にMICEビジネスにこんなにも多様な企業・業種がかかわっていることを知り、就職先としてのMICE業界のイメージがさらに膨らみました。

MICEを始点に、未来にどうつなげていくのか。主催者にとどまらず、参加者、スポンサー、受入れ地域など、それぞれの視点を踏まえた提案が必要であり、これらを考察したうえでの提案が、JMCの奥深さと難しさと感じました。

入賞は逃したけれど、やり切れました。発表までの取組みは、自身の成長、大きな自信につながりました。

アンケート結果：指導教員

■ 主なコメント抜粋

大学に留まっていたでは経験しえないチャレンジでした。
入賞を逃した悔しい思いを含めて、学生が今後の自身と向き合う成長機会となりました。

「現場でしか学べない勇気」を習得するきっかけとなりました。
今後、MICEについての授業時間をもっと割いていきたいと考えています。

学生にとって非常に多くの学びを与えてくれるこのイベントの継続に向け協力をして
いきたいと思います。

私自身もMICE産業の魅力を改めて感じるところです。
今後も参画させていただき、MICE業界を盛り上げていくことができればと思います。

アンケート結果：業界関係者・一般参加者

■ 主なコメント抜粋

想像以上に学生の熱量があり、作り込まれたプレゼンで、聞いている側としても学びになる、また業界関係者とのネットワーキングになり充実した2日間でした。

学生たちの発表はとても刺激があり、学びも多かったです。また、業界の皆さまの協力があってこそこのチャレンジであり、このような機会は学生にとっても励みになると思います。継続に向けて、関係者一体になり、協力していければと願っています。

MICEに興味のある新卒学生を採用しようとしている企業にとっては非常に有効な場だと感じました。

JAPAN MICE Challenge 2026

開催案内

2025年6月

JAPAN MICE Challenge 実行委員会

JAPAN MICE Challenge 2026：開催概要

- ・会期

第1次ラウンド：2026年2月13日（金）～14日（土）

決勝ラウンド：2026年3月12日（木）～13日（金）

- ・会場

第1次ラウンド：パシフィコ横浜、および、横浜市内

決勝ラウンド：ガンガラーの谷、および、沖縄県内

- ・主催

JAPAN MICE Challenge 実行委員会

【実行委員会構成団体】

一般社団法人日本コンベンション協会

- ・共催（第1次ラウンド）

横浜市

MPI Japan Chapter

株式会社DMC沖縄

株式会社MICEジャパン

- ・後援

観光庁、日本政府観光局、沖縄県（申請予定）

- ・参加対象

ピッチ参加学生、本取組に賛同頂ける業界団体 / 企業

プログラムの全体像

書類選考

(学生チームエントリー)

第1次ラウンド@横浜

- ・企業インセンティブ部門
- ・国際会議部門
- ・展示会部門

※審査員＋一般参加者の投票

決勝ラウンド@沖縄

第1次ラウンドにおける
各部門のトップ通過チーム＋
上記3チームを除く全部門
共通での上位2チームを対象
とした総合審査

※審査員評価

書類選考を経て、第1次ラウンドにて各部門5チーム程度、
決勝ラウンドにて各部門のトップ通過チーム＋全部門共通での上位2チーム
あわせて計5チームの参加を想定

審査部門・審査項目

■ 審査部門

MI：仮想のインセンティブトラベルの日本への誘致

C：仮想の国際会議の日本への誘致

E：横浜市または沖縄県における新規国際展示会の立ち上げ

■ 審査項目

- ・ 主催者や事業対象産業の課題解決に直結する提案
10点 / 20点 / 30点 / 40点
- ・ 独創的な提案内容と訴求力
10点 / 20点 / 30点 / 40点
- ・ 開催地（地域課題解決/未来創造）への貢献
5点 / 10点 / 15点 / 20点

会期中のプログラム（仮）：第1次ラウンド

Day 1【2026年2月13日（金）】

12:30～12:35	開会挨拶
12:35～12:45	開催概要説明 / 投票ガイダンス / 参加チーム紹介
12:45～14:45	企業インセンティブ部門ピッチ：プレゼン15分＋フィードバック5分 × 5チーム
14:45～15:00	ブレイク
15:00～17:00	国際会議部門ピッチ：プレゼン15分＋フィードバック5分 × 5チーム
17:00～17:15	ブレイク
17:15～19:15	展示会部門ピッチ：プレゼン15分＋フィードバック5分 × 5チーム
19:30～20:30	交流会

Day 2【2026年2月14日（土）】

9:00～10:30	インスペクション（学生向け） / MICE人的資本フォーラム（業界関係者向け）
10:30～12:00	協賛企業ピッチ
12:00～13:00	ランチ / アドバイザリーボードランチMTG
13:00～14:00	Firesidechat：次世代リーダーが語るMICE業界の“HOPE”
14:00～15:00	協賛企業と学生のネットワーキング
15:00～15:30	1次ラウンド総括 / 決勝ラウンド進出チームの発表 / 閉会

会期中のプログラム（仮）：決勝ラウンド

Day 1 【2026年3月12日（木）】	
15:00～16:00	カクテルレセプション
16:00～16:10	開会挨拶 / イントロダクション
16:10～17:45	決勝ラウンドピッチ①：プレゼン15分＋質疑応答15分 × 3チーム (MI、C、E部門における1次ラウンド1位通過チーム)
17:45～18:00	ブレイク
18:00～19:00	決勝ラウンドピッチ②：プレゼン15分＋質疑応答15分 × 2チーム (MI、C、E部門の1位通過を除く、上位2チーム)
19:10～20:30	交流会

Day 2 【2026年3月13日（金）】	
9:00～11:30	OMN産業部会企画事業（学生向け） / 次回開催に向けたラップアップ（業界関係者・一般参加者有志向け）
11:30～12:00	決勝ラウンド総括 / 表彰式 / 閉会
12:00～13:30	ランチョン with 学生からのフィードバック

全体スケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
意思決定	第1回 実行 委員会 開催				第2回 実行 委員会 開催				第3回 実行 委員会 開催		決算 実行 委員会 開催
業界対応	開催概要 説明会				メンター 確定		協賛締切		参加締切	第1次 ラウンド @横浜	決勝 ラウンド @沖縄
学生対応		学生 チーム 公募開始	学生 チーム 参加締切	学生 チーム オリエン	学生チーム向け メンタリング						

協賛プログラム

協賛ご参画について

価格 / 提供役務	Diamond	Platinum	Gold	Silver	Bronz
価格（税別）	200万円	100万円	50万円	30万円	10万円
当日配布冊子への広告掲出（表紙4、カラー）	○				
当日配布冊子への広告掲出（表紙2、表2対向～の先着順、カラー）		○			
当日配布冊子への広告掲出（Platinum枠数に続く掲載箇所、カラー）			○		
最優秀賞プレゼンター	○				
第1次ラウンドにおける学生向けピッチ実施	○	○	○	○	
学生に対するメンター派遣 ※企業協賛のみに該当し、学生に伴走するメンターの派遣希望の申込が必要 （実際の派遣には別途条件の承諾と履行が必要となります）	○	○	○	○	
決勝ラウンド 参加登録枠（無償）	10	10	5	3	1
イベントLP、その他制作物におけるロゴ掲出	○	○	○	○	○

※参考：第1次ラウンド、決勝ラウンドの合計で約2,500万円の予算を想定

お問い合わせ先

◆JAPAN MICE Challenge 実行委員会事務局

株式会社MICEジャパン / MICE Plus Institute 事業部

TEL：

e-mail：miceplus@micejapan.jp

◆JAPAN MICE Challenge 運営事務局

株式会社DMC沖縄 / MICEソリューションセンター

TEL：098-943-6642

e-mail：micesolution@dmc-okinawa.co.jp